



こんにちは！

茅ヶ崎市青少年指導員です

わたしたち青少年指導員は、青少年の自発的活動や青少年育成団体の活動を推進し、青少年の健全な育成をはかるために『地域で育てよう！青少年。』をキャッチコピーに神奈川県より委嘱を受け活動しています。

活動の一環として、ミュージックベル・パネルシアター・エプロンシアター・紙芝居・人形劇・仲間集めカードゲーム等の実演や指導、貸し出しを行い、子ども会などの活動も支援しています。市内19小学校区それぞれに青少年指導員がいますので、ぜひ、声をかけてみてくださいね♪

主な貸し出し備品の紹介

●ミュージックベル

色分けされた楽譜を見ながら演奏をします。親指は立てて残り4本の指で柄を握り、小指はそっと添える程度にします。ベルが上を向くように胸元に持ち、手首のスナップをきかせ前へ降り下ろしたあと、「ベルの中に水が入っていて、それをこぼさないように…」というイメージで元の位置まで戻します。音を消す時は胸元にベルをつけて止めます。

演奏メンバーでそれぞれ音を担当し、楽譜に合わせ音をつなぎ曲を奏でます。歌のある物は実際に歌いながら演奏をすると、リズムを合わせやすくなります。

ケースからの出し入れは白布手袋を用い、取り扱いには十分な注意が必要です。金属のベル部分のほか、「クラッパー」と呼ばれる中の振り子は特に触らないようにします。長机などに専用の布を敷いてベルを並べます。見えない部分（演奏者側）の布と机を養生テープなどで留めておくと、ずり落ちを防ぐことができます。

子どもが演奏する際は、振り下ろした時に手からベルがすっぽ抜けないようにちゃんと柄を握ることや、ベルを机にぶつけてしまわないように気を付けます。特に子どもは「クラッパー」部分が気になって触りがちなので、最初にしっかりと説明をしてから始めましょう。

- ①まずは音を鳴らしてみる
- ②自分が鳴らすタイミングを各自確認・練習
- ③ゆ〜っくりとみんなで合わせてみる
- ④慣れてきたら、少しずつテンポよくしていく

どんな音がする？

どうしたらきれいな音が出せるかな？

～♪完璧でなくても、みんなで演奏することを楽しみましょう♪～

●パネルシアター

通常、青少年指導員が使用するセットは大掛かりな物ですが、貸し出しは持ち運びや設営のしやすい「簡易セット」になります。「おはなし」は、ブラックライトに反応する画材で作られた物とそうでない物があります。

ブラックライト使用時に白っぽい物を着用していると浮き出してしまう場合があるので、演者は暗めの服装で行うことをお勧めします。また、部屋を暗くするので、見ている方への配慮も必要です。（驚かないように「暗くするよ。」や、足元が見えにくいので「立ち上がると危ないよ。」などの声掛け）

演じる上での注意点は、パーツをパネルに貼ったり取ったりする際、なるべく手だけを伸ば

すようにし、身体でパネル面を遮らないようにすることです。練習を重ねる毎にタイミングや動きが分かり、スムーズに演じることができるようになります。音楽や歌に合わせるもの、ものがたり、問いかけをしながらのおはなしなどあるので、シーンに合わせて見ている側へ歌や手拍子などを誘いながら行うのも良いでしょう。

ホワイトボードなどを用い大きい面で行いたい場合は、大きなセットに使用している「黒布」と「白布」が、貸し出し可能になっています。

●仲間集めカードゲーム

みんな大好き「仲間集めカードゲーム」。複数の絵柄の描かれたカードが数十枚ずつ入ったセットです。最初に集めるカードの絵柄を決めます。指導者とのじゃんけんに勝ったプレイヤーが袋（プレイヤーが多い時は袋の数を増やす。）からカードを探して取り、集めて行くというのが基本的な遊び方です。

集めるカードと袋の中の種類や枚数、じゃんけんに勝った人のみか、あいこの人も入れるかなどの変更によってプレイ時間を調節することができます。それでもカードを取れないプレイヤーがいる場合は、予告じゃんけん（「次〇〇出すよ〜！」と教える。）などをして良いでしょう。最初にグループ分けをする場合は、人数分けゲームとセットにすると楽しいです。

●ウブツカード

アイスブレイカーにも、チームプレーにも、少人数でも、大人数でも楽しめるカードのゲームです。54枚のカードの裏表にある絵を使ったゲームで遊び方は様々。代表的なものは、2人1組になり、いっせいでカードを一枚、8種類の絵が書いてある面を相手に見せます。それぞれのカードには必ず同じ絵があるので、それを先に見つけた方が勝ち！というものです。大人でも子供でも楽しめるゲームです。

●むかしあそび

「けん玉」「お手玉」「めんこ」「ベーゴマ」など、今の子どもたちにはあまり馴染みのないあそびたち。大人やご年配の方々に遊び方を教わり一緒にやっても良いでしょう。

地域の方との交流イベントなどにお勧めです。

●バンブーダンス

リズムに合わせて動かす竹（バンブー）を、踏まないように往復するダンスです。安全に行うためには、バンブーはなるべく上にあげず水平にスライドするように動かします。対象者に合わせ、竹を置いたまま→ゆっくり動かす→音楽をかけて とやってみましょう。慣れてきたら複数人で入ったり、オリジナルの動きで楽しむこともできます。

バンブーはかなり長いので、貸し出しの際は運搬方法の確認が必要になります。

備品貸し出しから返却までのながれ

1. 「★備品リスト★」から備品を選ぶ。ミュージックベルの場合は「ミュージックベル楽譜一覧」から曲目も選ぶ。
 2. 学区の青少年指導員に連絡する。
 3. 「備品貸し出し申込書」を用い、希望する日時などの申込内容を伝え、返答を待つ。
 4. 貸し出しOKの場合、備品受け取り・返却の場所と日時を担当の青少年指導員と決める。
- ★学区の青少年指導員がわからない場合は、地域の自治会や推進協（各小学校区青少年育成推進協議会）にお問い合わせください。

*貸し出し時には、備品の使用方法や注意点について指導員から説明を行います。

*備品によって練習の必要なものもあります。練習のための貸し出しもお申し込みください。

- *クリスマスや歓送迎会など、イベントの多い時期は申し込みが重なることもあります。日程調整のご協力を頂いたり、ご希望に添えない場合もあります。
- *備品使用の前後に、数量や状態のご確認をお願いします。もし紛失や破損があった場合は、返却時に必ずお知らせください。
- *備品選びや進め方などに迷った時はご相談ください。日数のかかる場合もありますが、きっと良いアドバイスをさせて頂けるとおもいます。
- *備品貸し出しは、市役所ならびに青少年課では受け付けていませんのでご注意ください。
- *備品の修理、調整中のために、貸し出しできない場合もあります。

感染症予防のための備品取り扱いについて

感染症拡大を防ぐため、次の事項をご確認のうえ、備品をご使用ください。

- *使用の前後は手指の消毒をしてください。
- *使用した備品の消毒をしてください。ただし、備品によって消毒方法が異なりますので、各学区の研修・事業部員（青少年指導員）までお尋ねください。
- *消毒用のアルコールなどは、各団体にてご用意ください。
- *場合によっては備品の貸し出しができないこともあります。まずは、ご相談ください。

